

市民目線の活動がモットーです。！！

霧島市霧島田口2703番地99 中村満雄

電話 0995-64-8922 080-8500-0803

メール mituo.na@eos.ocn.ne.jp

議会の広報誌に掲載されています一般質問についての解説などを主体に、私の意見を述べます。



◆平成26年12月議会

漸く、市内全域の悪臭規制が始まります。

問 合併前の状況を現在に引き継いでいる悪臭規制方法を見直すべきではないか。

答 悪臭発生業種の多様化傾向がある、様々な臭いに対応できる臭気指数規制の導入が必要。観光立市として、臭気を含めた環境問題に積極的に取り組むメッセージを発信したい。

平成27年度中の悪臭規制区域変更及び臭気指数規制の導入を目指す。臭気指数規制とはアンモニア、硫化水素等の臭い物質の濃度規制ではなく、人間の感覚に対応できる臭気規制の方法である。

平成27年10月1日よりの実施が確定しました。

不安が一杯、口輪野地区太陽光発電

問 土地開発公社所有であった口輪野地区土地に計画のある太陽光発電建設について地元的不安が大きい、業者選定状況、募集要領記載の条件をどのように担保するかを問う

答 南国殖産関連会社の『九州おひさま発電』を選定した37ha全体を賃貸する。太陽光

パネル設置は平地9.5haのみ募集要領に付した調整池を含む用地全体の適切な管理、事業期間終了後の原状復帰等の各種条件は、事業者と市で結び契約書で担保する。除草剤使用等の住民不安を払拭する契約も締結したい。住民説明会の実施も条件である。

平成27年10月現在、契約に至っていません。

その他の質問

小児夜間救急診療体制

小児夜間救急医療がなぜ実現しないか、奥深い問題があります。市長は努力すると言っています。でも実現しません。

医師会病院は始良地区医師会が指定管理者として運営を請け負っています。医師確保の責任は指定管理者が負う契約です。霧島市の医療従事者の数は県平均よりはるかに低いのです。お医者さんにとって魅力の無い霧島市が問題です。

霧島永水太陽光発電所の建設計画

県の許可が平成27年5月22日におりました。詳細は4頁に

木質バイオマス発電事業

工事は順調、霧島市が4億800万円交付します。燃料調達先は市内33%、市外67%です。詳細は4頁に

◆平成27年3月議会

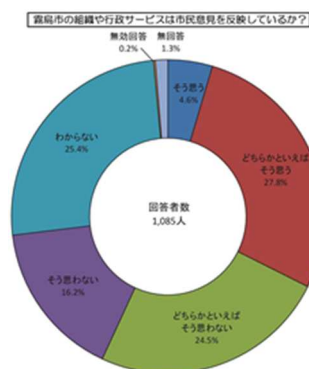
国分庁舎増設計画と周辺地域活性化の整合性

問 庁舎増築構想は民意を反映しているか、周辺地域の衰退を招くのではないかと。市議員の周辺地域への移住誘導策を考えるつもりはないか？

答 庁舎増築の目的は適正化した職員で効果的・効率的な行財政運営、市民サービスの提供、利便性の向上を図るためだ。先の選挙後、庁舎増築構想を策定し、設計に要する経費を平成26年度予算に提案し、市民の代表である議会の議決を受けたことが民意反映の表れである。周辺部の活性化は庁舎増築とは別に解決すべき重要課題であり、全庁を挙げて取組んで行く。職員が周辺地域に移住するかは職員

の判断に任せている。なぜ、国分庁舎を増築するのか、民意を反映しているか、さらなる周辺地域の過疎化推進策ではないかと問いか

けました。平成26年度予算に対して反対討論をしました。最大の問題は国分庁舎の増築関連予算が計上されていることです。私が市議になる前の市議会の特別委員会は賛否の結論を出せませんでした。旧6町の支所活用策を提示しないまま、国分に職員を集める構想です。旧6町の過疎促進策です。市長は『市民が主役』との所信表明をしながら、市民アンケートでは市の動きは市民意見が7割弱です。せりふの意見が7割弱です。せりふの意見が7割弱です。せりふの意見が7割弱です。



市職員の処遇と行政効率

問 異常な時間外勤務の実態、休日勤務の代休の実態、非正規職員の処遇について問う。答 市長が時間外勤務の現状と対策について直接指示をし

た。一年間を超えて代休を取れなかった実態は把握していない。代休未取得分については時間外手当を支払うべきである。サービスマン残業はあつてはならない。臨時職員数は691名、一時的な採用であつた臨時職員を便宜的に雇用し、更新を重ねた実態はある。

?? 市役所では恒常的に異様な時間外勤務が続いています。背景に臨時職員の劣悪な雇用条件と、職員数削減の成果をアピールしたい執行部の狙いがあります。霧島市の正規職員数は条例で定められています。職員の数を減らすことが合併の狙いでした。ところが

国、県からの移管事務が増えるなどで仕事は増える一方、職員は見かけ上減らさねばなりません。そこで編み出された奥の手が薄給で雇える臨時職員の活用です。平成26年11月現在で正規職員が972名、臨時職員691名。そのうち月額雇用者が378名、日額雇用者が313名です。(消防を除きます) 市役所で働いている職員の4割は臨時職員です。窓口に行つてもどなたが正規職員でど

なたが臨時職員かは殆ど分かりません。建前上の人員削減のために劣悪な労働条件で働いておられる臨時職員の存在をご認識ください。臨時職員問題は霧島市だけの問題ではありません。

財政グループは一人平均年間1123時間の殺人的な時間外勤務が行われています。これを異常と感じない事が異常です。

霧島永水太陽光発電所の建設計画について
詳細は4頁に

木質バイオマス発電事業について
燃料保管場所として優良農地

を3年の一時転用、ところがこの土地の売買の仮登記が行われていることが判明しました。詳細は4頁に

◆平成27年6月議会

周辺地域活性化は実現するか?

問 周辺地域の人口減少問題、人口移動の実態、支所活用の具体策、周辺地域の教育環境について問う。

答 周辺地域の人口減少問題

は重要課題である。周辺地域の活性化には若い世代が地域の未来を実感できる街作りが重要である。中山間地域活性化予算として4億8500万円を計上した。合併後、周辺地域から市街地へ1144世帯、市街地から周辺地域へ770世帯が転居、市職員は78人が周辺地域から市街地へ、7人が市街地から周辺地域へ転居した。職員の転居理由調査はすぐに検討したい。周辺地域での塾開設支援は政策的課題として検討に値する。

支所活用方針は地域審議会、自治公民館長の意見、議員の意見を聞きまとめる。

?? 霧島市の最大の課題は周辺地域の活性化対策です。市は多額の予算を計上していますが、果たして実効性があるか? 市民の皆様からは周辺地域の活性化には人口流出を防ぐしかないとの意見を聞きます。市役所を拡張し、支所の職員を市役所に集めればさらなる周辺地域の衰退を招くことは誰でも予想できます。自治公民館長さん、地域審議会の委員さんほどのように思われているのか?

地域から市街地へが多い。その理由を調べ、周辺地域活性化施策に生かすべきです

海の環境改善、漁業従事者の所得向上実現へ

問 水質改善、赤潮被害軽減に繋がる収益性の高いアサリ栽培型試験養殖の市の役割、支援策を問う。

答 錦江漁協が実施しているアサリ養殖事業は市と連携し進めてきた。試験結果は良好である。事業が軌道に乗り、所得向上に繋がるよう支援を行う。ブランド確立は重要課題である。販売促進策として、観光、市場出荷、地元消費を考える。漁協の計画に沿った支援を行う。

『福岡市で砂抜き不要のあさり養殖も研究されています。さらなる研究が進むことを切望します。』

その他の質問

木質バイオマス発電事業について
詳細は4頁に

軽飛行機の胴体着陸による鹿児島空港閉鎖問題について

平成27年4月26日、鹿児島

空港に軽飛行機が胴体着陸し26日35便が欠航、27日午前中欠航が続きました。

足止めを余儀なくされた乗客は午後10時の空港ビル閉鎖で強制退去させられたとの報道がありました。空港ビルは管理規則に従った対応をしたと述べていますが、このような杓子定規な対応について、違和感を覚え、観光立市を標榜している霧島市の対応が問われると質問しました。

霧島市は①鹿児島国際空港は市が管理している空港ではない。②県、空港管理事務所、空港ビルディングが対応すべき事である。③新聞報道では締め出されたあつたが少人数であった。④霧島市から時間延長の要請はしなかった。市は問題なかった、責任は無いという答弁でした。私は納得しておりません。このような事故があつた時にこそ観光立市を標榜している霧島市の対応が問われます。口先だけの『おもてなし』は意味が無いとの声も聞きます。災い転じて福となす、事故は何時起こるか分かりません。このような事故があつたときの心温まる対応こそが霧島市の評価を

高めることとなります。



◆平成27年9月議会

フッ化物洗口事業についての疑問？

問 フッ化物洗口事業の根拠効果、保護者説明内容、学童対象に拡大した理由、当事業に対する異論への見解を問う

答 厚労省ガイドライン、県の計画に沿った事業である。平成18年から幼稚園、保育園を対象に実施している。フッ化物洗口の虫歯予防効果は把握していない。本年モデル校として川原、高千穂の両小学校を選定試行する。両校への説明会は始良地区歯科医師会、薬剤師会、保健所と共催、歯科

医師が説明した。保護者の同意を得た児童のみフッ化物洗口を行う。不同意の保護者に対し説得行為、理由の聴取は実施しない。フッ化物洗口に対し、異論があることは承知している。

賛成、反対の意見を持つ学識者を招いての公開討議開催の提言は一つの検討材料である。慎重に意見を聞き、判断する。世界保健機関（WHO）が6歳以下を禁忌とした情報は知らない

？？フッ化物洗口とは？

フッ素が含まれている地下水を飲んでいる集落で虫歯が少ないようだと言う調査から練り歯磨きにフッ素が添加されるようになりました。

米国で売られているコルゲート社の練り歯磨きには『警告の歳以下のこどもの手の届かないところにおいてください。もし、歯磨きに使う量以上の（歯磨き粉）を間違えて飲み込んでしまったら、ただちに医療機関に行くか毒物管理センターに行ってください。』と記載されています。FDA（アメリカ食品医薬品局）が、フッ素入り練り歯磨きに「警告文」の

表示を義務づけたためです。日本で売られている同社の練り歯磨きにはこの警告は記載されていません。日本のタバコには『喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。疫学的な推計によると、喫煙者は肺がんにより死亡する危険性が非喫煙者に比べて約2倍から4倍高くなりま

す。』と印刷されています。これと同じです。自己責任で対応してくださいとの意味です。フッ素化合物を含んだ虫歯予防方法にはフッ素入り練り歯磨き、フッ素塗布、フッ化物洗口などがありますが、多くの歯医者さんは効果があると推奨しています。厚労省も推奨しています。でも、それはおかしいのではという歯医者さん、内科のお医者さん、大学の研究者も多数存在します。

賛成、反対の意見があることを伝えた上で保護者が判断すべきことであり、決して行政が強制すべきではありません。フッ化物洗口の薬の説明書には劇薬の表示があります。厚労省ガイドラインの根拠は1969年のWHO勧告です。ところが1994年WHOは6歳以下に使用してはいけな

いとの見解に変えました。ユニセフはたとえ少量であっても良くないという見解を示し、前述のFDAも6歳以下は危険であると言っています。推進するのは厚労省を含む行政と歯科医師会です。

霧島田口の養豚場の汚水、悪臭問題について

問 渡辺パークシャアの汚水、悪臭苦情が改善されない。市のこれまで、及び今後の対応について問う。

答 指摘のとおり、これまで地域住民から多くの苦情が寄せられている。農場主の同意をもらえば市単独での立入りが可能であることを県に確認した。今後は農場主の同意を得て市単独の立入り調査を実施したい。社長名で市長宛書簡が届いた。

『不快な思い、迷惑を掛けた。霧島市や市議の指摘を真摯に受け止め、市の指導に従い早急に改善する』との内容であった。

？？渡辺パークシャア環境問題

霧島田口で40年間営まれています黒豚農場に対して近隣にお住まいの方々から汚水、悪臭の苦情が絶えませんでした。9月議会の質問で浄化槽の管理が不適切であったことを市も認め、今後は事業主の了解を得た上で毎月立ち入り検査をするようになりました。事業主から市長宛釈明の書簡も届きました。農場主のパークシャア種へのこだわり、霧島の黒豚ブランドを確立された功績に配慮し環境問題が改善されることを切に望みます。

◆市役所増築議案について反対討論をしました。

市民サービスを効果的、効率的に提供し、その利便性の向上を図るため、必要最小限の執務スペース及び会議室を確保することが目的だそうです。必要最小限と言いつながら25億円の巨額の出費です。国分、隼人以外の5町の皆様からお話を伺う度に市役所が大きくなっても私たちには良いことは無い、支所はどうなるの？支所の職員が減るので

しょう？周辺地域に住むなどいうことか？など厳しい指摘を頂いています。

市長は平成26年度予算で提案し、市民の代表である議会の議決を受けたことから、市民の皆様のご理解は十分に得られているものと認識されているそうです。

市街地にお住まいの方の利便性は向上するでしょうが、周辺旧5町の方々から人口減少、過疎化への不安を聞きますと、本当に市民の理解が得られているのか。議員はともかく市民の皆様が理解が得られているとは到底思えません。支所の活用策、周辺地域の活性化策が軌道に乗ってからでも良いのではと思います。周辺旧5町にお住まいの議員に賛同をお願いしました。

採決の結果、増築議案は賛成21、反対3で可決されました。横川、牧園、溝辺、霧島にお住まいの議員さんが市役所増築議案に賛成されたのは意外でした。

霧島永水太陽光発電所の建設計画について

30万頭規模の養豚場建設計画が霧島永水でありました。

この計画が撤回されたのは平成24年11月です。

その後、太陽光発電所建設計画に変わり、県の許可が下りたのが平成27年5月。発電能力は40メガワット。

事業者と地元自治公民館、水利組合と環境に関する協定書と覚書が締結されました。

主な内容は①敷地及び施設内への立入調査を認める。②故意または過失の有無に関わらず責任をもって全ての被害について補償する。③雑草対策として除草剤は一切使用しない。④平成22年7月に発生した6時間324ミリ、時間雨量126ミリ程度の豪雨に耐える防災施設を作る。⑤太陽光発電設備、調整池を含む防災施設の設計図を開示する。

⑥住民と合意した環境監視を行い、結果を報告する。⑦防災責任の地域は賃貸対象となる全地域である。太陽光発電所は20年以上稼働します。将来を見越しての協定が成立しました。太陽光発電所設置のトラブル防止目的で着工前の計画公開、事業者が設備の点検や保守を怠った場合に経産相が改善命令を出す仕組みが検討される

ようです。

木質バイオマス発電事業について

平成27年5月霧島永水に建設中であつた間伐材を主燃料とする発電所の竣工式がありました。林農林大臣、鹿児島県知事など、多くの来賓があつたようです。出力は5750Kw、一般家庭1万世帯分に相当するそうです。総事業費は36億円、売電価格は32円です。年間10億円の売電収入を予定しています。

この事業には国の無利子融資14億円、県の補助金2億円、霧島市が燃料を安定的に調達できるように4億円余の補助金を交付します。

全国で多くの間伐材を燃やす発電所が建設されており、燃料調達がこの事業の成否を握っていると言われています。

霧島市の交付した補助金を使って実施された燃料調達先は市内3割、市外が7割です。この補助金の目的には森林整備の促進、林業従事者の所得向上、雇用拡大も含まれていますが、市内の森林整備、雇用拡大に貢献しているとは言え

ません。

◆万が一、この事業が行き詰まりますと国融資金の返済義務を霧島市が負うことになり、鹿屋市でバイオマス関連事業が行き詰まり、破産申請が行われました。

鹿屋市は国から返還を求められるようです。

◆燃料置場は県道2号線、牧神地区の1.5haです。この地域は農振地域の優良農地であつて、転用は厳しく制限される場所です。農業委員会から3年間の一時転用の認可を受けています。ところがこの土地に対して霧島法務局に『所有権移転請求権仮登記』がなされています。農地取得には厳しい制約があります。農地転用の新しい方法かもしれませ

◆選挙の時に市民の皆様の声を市政にという主張を市議の皆様はなさいませ。市民の声を代弁する最も良い場所は一般質問です。8回の議会を経験しました。議長を除く25名

の議員のうち、欠かさず質問された議員は私を含めて7名でした。

◆悪臭防止監視方法について臭気指数規制方式を採用するように働きかけました。

◆霧島永水・中迫の太陽光発電所建設現場から土石流が発生しました。再発防止交渉のお手伝いをしました。

◆霧島市の節度ある地下水利用の条例制定するように働きかけました。

◆重久水力発電所と重久上溝土地改良区の皆様との取水に関する協定書締結のお手伝いをしました。

◆霧島永水の太陽光発電建設工事に関する協定書、覚書締結のお手伝いをしました。

◆国道10号線の路面がガタガタで騒音がひどいとの声を代弁し、簡易補修が実現しました。